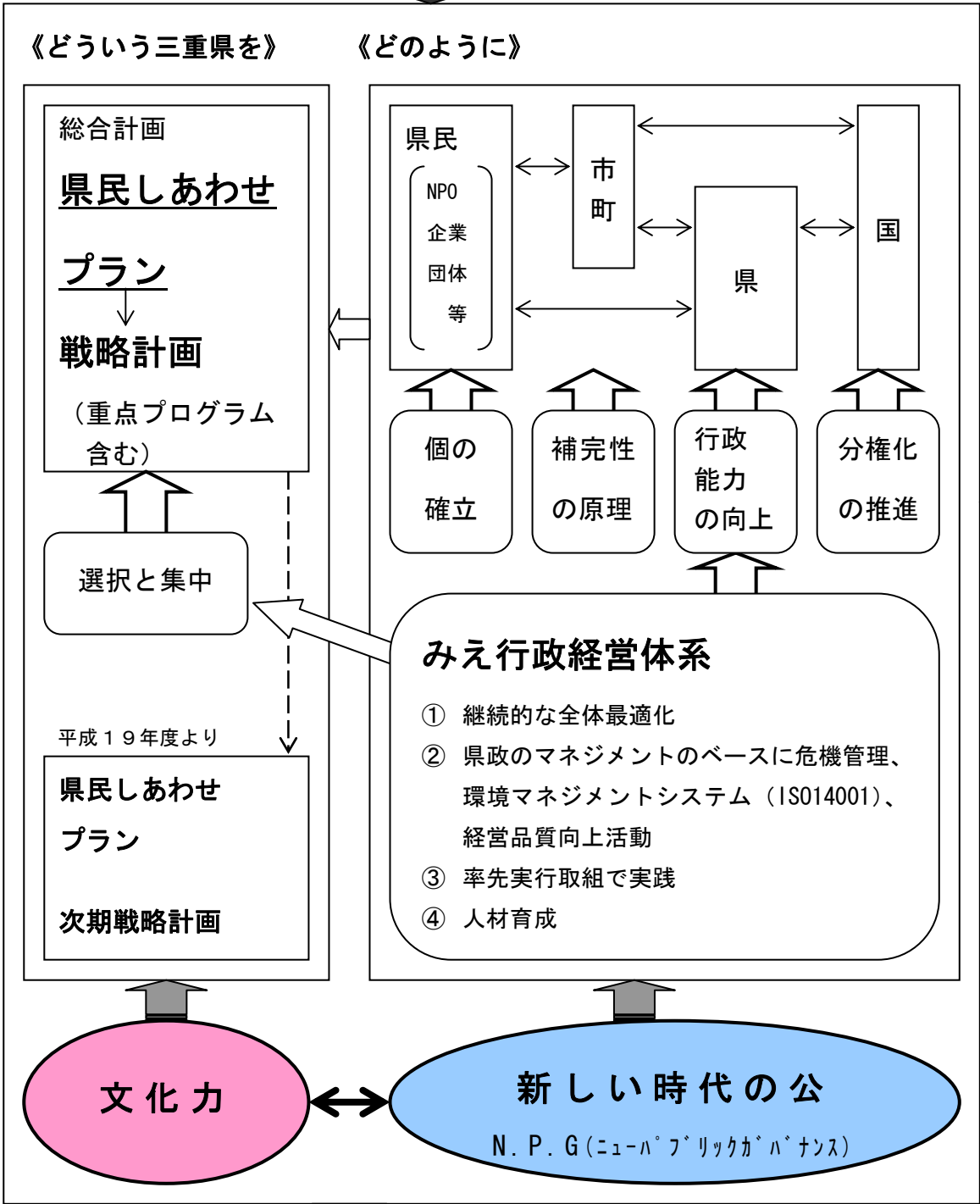


# 三重県政の新しいステージ

《三重県は県民の人生の舞台》  
①誰のため、何のため ②どういう三重県を ③どのように

《県政運営の基本姿勢》  
①県民が主役 ②県民との協働 ⇒ ③感性を磨く

時代認識



『みえけん愛を育む “しあわせ創造県”』を県民が主役で築く

# みえの文化力指針（案）のポイント

## 1 「文化力」を政策に生かす …… 三重の舞台づくり

「文化力」を政策のベースに位置づけ、経済的価値だけでなく、文化的価値に着目して政策を見直し、経済と文化のバランスの取れた政策への転換を進めます

### （時代背景）

経済成長により便利で豊かな生活を手に入れましたが、一方で、効率性やスピードを求めすぎた結果、人の心や家庭、地域の問題といった様々な形で社会のひずみが顕在化してきています。また、時代は成長から成熟への大きな転換期にあり、価値観も大きく変化しています。しかし、行政は、社会のひずみや大きな時代の変化にうまく対応できておらず、政策のあり方が問われています。

### （文化と文化力）

文化は、長い時間をかけて育まれてきた知恵と工夫の結晶であり、暮らしの営みの履歴ともいえるものです。そこで、文化を、「生活の質を高めるための人々のさまざまな活動及びその成果」と広くとらえます。このように文化を広くとらえたとき、文化は人や地域を元気にし、暮らしをより良くしていく力を持っています。このような、文化の持つ力を「文化力」ととらえます。

### （文化力に着目）

行政は、これからは、生活の質、暮らしの中のしあわせ感をもっと大切にする方向に政策の重点を移すことが求められており、県は、文化の持つ力に着目し、文化力を政策に生かしていきます。

### （文化力の側面）

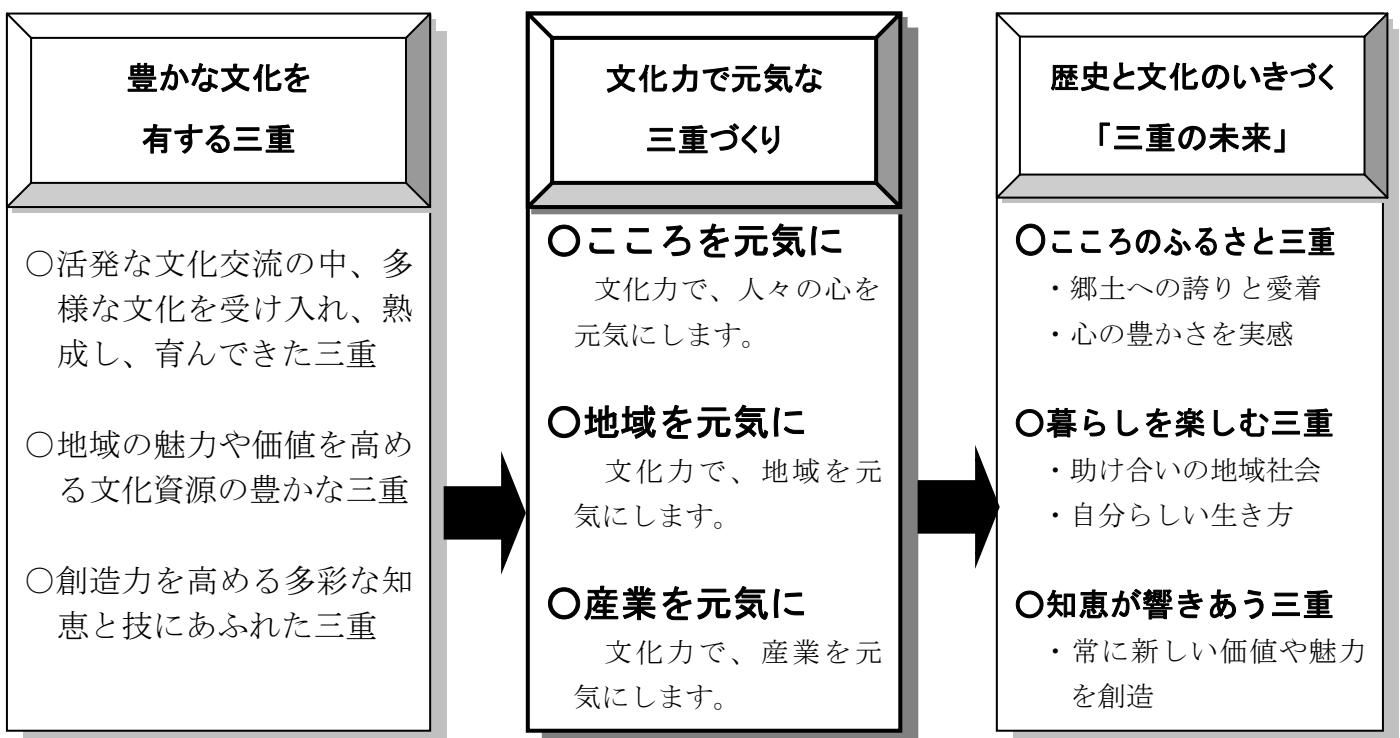
文化力は、心豊かに生きるための一人ひとりの力（**人間力**）であり、また、たくさんの人の力が集まって、地域の魅力や価値を高める力（**地域力**）です。さらに、人間力や地域力の源泉になる、新しい知恵や仕組みを生み出す力（**創造力**）の側面もあります。

### （「文化力」を政策に生かす：発想の転換）

「文化力」を政策のベースに置き、これまでの経済的な合理性や効率性などを基準にするだけでなく、発想を転換し、経済的価値に加え、文化的な価値に着目し、多面的に政策を考え、政策を見直していきます。

これまでの政策が、種々の課題に対する対症療法的なものとするなら、文化力は中長期的に社会全体の体質を改善し、健康な社会づくりを目指すものです。

## 2 「文化力」で何をを目指すのか …… 多様な三重の文化資源を生かしながら、文化力で元気な三重づくりを進め、歴史と文化のいきづく「三重の未来」を目指します



## 指針別冊・職員向けの政策ツール（発想の転換のヒント）

文化力を高め、生かす舞台づくりを進めるために、職員は、どのように発想を転換して、政策を見直していけばいいのでしょうか。

### ①どんな、「発想の転換」が必要なのか

- ・経済的な効率性だけにとらわれずに、文化の持つ多面的な力に着目する。
- ・多面的な価値に着目し、複眼的にとらえ、考える。
- ・違った価値観や文化を認め合うといった多様性を尊重する。

### ②どのように、「発想の転換」をするのか

- ・既存の価値基準、制度、前例などにとらわれずに柔軟に考える。
- ・「誰のために、何のために、何を目指しているのか」を問い続け、県民と一緒に考える。

【発想を転換する9つのヒント】……三つの力（人間力、地域力、創造力）と三つの「わ」に着目して、発想の転換を進めます。

文化力を高め、生かすためには、多様な文化ストックを発掘、活用、循環して地域の価値や魅力を高めるとともに、さまざまに交流、連携する中で新たな文化や価値の創造につなげることで、そして文化や価値の多様性と調和を確保することが大切です。

三つの「わ」

- ①ストックの活用・循環（「環」＝サイクル・循環）
- ②交流・連携（「輪」＝ネットワーク・つながり）
- ③多様性と調和（「和」＝バランス・調和）

	ストックの活用・循環 （「環」）	交流・連携 （「輪」）	多様性と調和 （「和」）
1 人間力を 高め、 生かす	①積極的に人材を発掘し、活用するように考えていますか。 『亀の甲より年の功』 （例えば） ・高齢者に蓄積された知識が生かされていますか？	②人と人の出会い、ネットワークを広げるように考えていますか。 『三本の矢』 （例えば） ・当事者や専門家だけで問題を解決しようとしていませんか？	③人それぞれの個性を尊重し、その能力を引き出すように考えていますか。 『十人十色』 （例えば） ・子ども達の知識を高めることだけが教育と考えていませんか？
2 地域力を 高め、 生かす	①埋もれた地域資源を発掘し、積極的に活用するように考えていますか。 『玉みがかざれば光なし』 （例えば） ・古民家は不便だけだと考えていませんか？	②地域の強みを伸ばし、お互いがないものを補い合うため、地域間の交流・連携を広げるように考えていますか。 『井の中の蛙』 （例えば） ・都市と農村の交流を進めていますか？	③地域それぞれの特色を尊重し、その独自性を引き出すように考えていますか。 『急がば回れ』 （例えば） ・公共工事を行う場合にも、地域の景観や特性を生かす視点が必要ではないですか？
3 創造力を 高め、 生かす	①多彩な知恵を発掘し、積極的に活用するように考えていますか。 『温故知新』 （例えば） ・伝統工芸の技は知恵の宝庫ではありませんか？	②異文化、異分野、異業種間など知恵の交流・連携を広げるように考えていますか。 『三人寄れば文殊の知恵』 （例えば） ・分野や器具の使い方を固定的に考えていませんか？	③文化や価値観の違いを尊重し、多様な知恵が共存できるように考えていますか。 『資源は有限、知恵は無限』 （例えば） ・在住外国人との交流を進めるのは誰のためですか？